

地域医療支援病院業務報告書

平成 25 年 10 月 1 日

静岡県知事 川勝 平太 様

所在地 静岡市葵区北安東 4 丁目 27-1

名称 静岡県立総合病院

開設者 地方独立行政法人静岡県立病院機構

理事長 神原 啓文



平成 24 年度の業務について、次のとおり医療法第 12 条の 2 第 1 項の規定により報告します。

1 地域医療支援病院の名称  
静岡県立総合病院

2 開設の場所  
静岡市葵区北安東 4 丁目 27-1

3 紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率	81.1 %	算定期間	平成 24 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 3 月 31 日
算出根拠	A : 紹介患者の数		15,927 人
	B : 救急患者の数		1,174 人
	C : 初診患者の総数		21,075 人

	他の病院又は診療所に紹介した患者の数	23,620 人 (15,423 人)
--	--------------------	------------------------

(注1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和をCで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあつては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

(注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、括弧内に「A: 紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。



紹介・逆紹介率（平成24年度）

	紹介患者 の数	救急患者 の数	初診患者 の総数	逆紹介患 者の数	地域医療 支援病院 紹介率	逆紹介率
平成 24 年 4 月	1,293	108	1,725	1,998	81.2	115.8
平成 24 年 5 月	1,377	115	1,825	2,083	81.8	114.1
平成 24 年 6 月	1,338	83	1,739	2,139	81.7	123.0
平成 24 年 7 月	1,425	99	1,888	1,999	80.7	105.9
平成 24 年 8 月	1,388	98	1,915	2,047	77.6	106.9
平成 24 年 9 月	1,314	81	1,688	1,875	82.6	111.1
平成 24 年 10 月	1,478	80	1,908	2,080	81.7	109.0
平成 24 年 11 月	1,249	103	1,661	1,857	81.4	111.8
平成 24 年 12 月	1,180	93	1,560	1,799	81.6	115.3
平成 25 年 1 月	1,260	121	1,711	1,699	80.7	99.3
平成 25 年 2 月	1,230	91	1,617	1,864	81.7	115.3
平成 25 年 3 月	1,395	102	1,838	2,180	81.4	118.6
計	15,927	1,174	21,075	23,620	81.1	112.1

#### 4 共同利用の実績

##### (1) 共同利用の実績

・病床の共同利用	医療機関の延べ数…52施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数…52施設
・医療機器の共同利用	医療機関の延べ数…1,403施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数…1,397施設
・研修施設の共同利用	医療機関の延べ数…1施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数…1施設
合計	医療機関の延べ数…1,456施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数…1,450施設
・共同利用に係る病床の病床利用率 18.5%	

注) 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

##### (2) 共同利用の範囲等 b

入院病床 (分散型) 手術室 分娩室 心臓カテーテル室 登録医控室 図書室 MRI、デジタルガンマカメラ、全身用X線CT装置、頭部専用X線CT装置
---

注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

##### (3) 登録医療機関の名簿

別紙1のとおり
---------

注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10 床
--------------	------

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	4,975人 (1,949人)
上記以外の救急患者の数	9,088人 (1,495人)
合 計	14,063人 (3,444人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

別紙2のとおり
---------

(2) 研修の実績

研修者数	1,610人
------	--------

注) 前年度の研修生の実数を記入すること。

(3) 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無  有 ・  無

(2) 研修委員会設置の有無  有 ・  無

(3) 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
神原 啓文	医師	循環器科	院長	46年	
野々木 宏	医師	循環器科	院長代理	28年	
土井 修	医師	循環器科	副院長	37年	
伊関 丈治	医師	外科	副院長	39年	
高木 明	医師	頭頸部耳鼻咽喉科	副院長	34年	
森 典子	医師	腎臓内科	副院長	32年	
安田 清	医師	救急科	部長	41年	
西尾 恭規	医師	泌尿器科	部長	36年	
井上 達秀	医師	内科	部長	32年	
中島 信明	医師	放射線科	部長	33年	
高木 正和	医師	外科	部長	32年	教育責任者
横山 順一郎	医師	麻酔科	部長	28年	
島田 俊夫	医師	臨床検査科	部長	39年	

注) 教育責任者については特記事項欄にその旨を記載すること。

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
本館会議室	46.71 m <sup>2</sup>	(主な設備) 机・椅子・ホワイトボード
本館研修室	54.90 m <sup>2</sup>	(主な設備) ホワイトボード・プロジェクター
講堂 (つつじホール)	281.64 m <sup>2</sup>	(主な設備) スクリーン・マイク一式・プロジェクター
臨床研究教育講義室	78.22 m <sup>2</sup>	(主な設備) スクリーン・プロジェクター
2G会議室	39.78 m <sup>2</sup>	(主な設備) 机・椅子・ホワイトボード
PET 地域医療支援室	53.57 m <sup>2</sup>	(主な設備) スクリーン・プロジェクター

7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	院長	神原 啓文
管理担当者氏名	診療情報管理室長	森 典子
	医事課長	杉山 満
	総務課長	川口 清隆

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病棟日誌、各科診療日誌、処方せん・手術記 録、看護記録・検査所見記録、エックス線 写 真、紹介状、退院した患者に係る入院期間 中の診療経過の要約		診療情報管理室 外来診療科（一部X 線）	診療録 ターミナルデジット方式
病院の管 理及び運 営に関す る 諸記録	共同利用の実績	医事課	
	救急医療の提供の実績	総務課	
	地域の医療従事者の資質の 向上を図るための研修の実 績	医事課	
	閲覧実績	なし	
	紹介患者に対する医療提供及 び他の病院又は診療所に対す る患者紹介の実績の数を明ら かにする帳簿	医事課	

注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	院長 神原 啓文
閲覧担当者氏名	総務課長 川口 清隆
閲覧の求めに応じる場所	総務課事務室

前年度の総閲覧件数		0	件
閲覧者別	医師	0	件
	歯科医師	0	件
	地方公共団体	0	件
	その他	0	件

注). 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。



9 委員会の開催の実績

(1) 委員会名	平成 24 年度第 1 回静岡県立総合病院地域医療支援病院運営委員会	
(2) 日 時	平成 24 年 10 月 30 日 (火) 19:30~20:20	
(3) 会 場	静岡県立総合病院 循環器病センター6 階「つつじホール」	
(4) 委員の現員数	11 名	
(5) 出席した委員の数	11 名	
	静岡県医師会副会長	篠原 彰
	静岡県歯科医師会専務理事	竹下 朝也
	静岡市静岡医師会会長	青山 茂夫
	静岡市清水医師会会長	松永 元良
	静岡県理事	鶴田 憲一
	静岡市保健所長	加治 正行
	(株)静岡新聞社 静岡放送(株) 取締役総務局長	篠原 光秋
	あけぼの静岡代表	星野 希代絵
	静岡県立総合病院院長	神原 啓文
	静岡県立総合病院副院長	土井 修
	静岡県立総合病院副院長	森 典子
(6) 議 題	ア当院の活動状況及び今後の活動予定 ①病診連携の状況 ②病診連携の取組 イ質疑応答 逆紹介率について 慢性期医療を考える会について 返書について 時間外 FAX について 地域医療支援病院実態調査アンケートについて 病床利用率について 消費税負担について 未収金について	

注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(1) 委員会名 平成 24 年度第 2 回静岡県立総合病院地域医療支援病院運営委員会

(2) 日 時 平成 25 年 3 月 5 日 (火) 18:30~19:30

(3) 会 場 静岡県立総合病院 循環器病センター6階「つつじホール」

(4) 委員の現員数 11名

(5) 出席した委員の数 9名

静岡県医師会副会長	篠原 彰
静岡県歯科医師会専務理事	竹下 朝也
静岡市静岡医師会会長	袴田 光治
静岡市清水医師会会長	松永 元良
静岡県理事	鶴田 憲一
静岡市保健所長	加治 正行
(株)静岡新聞社 静岡放送(株) 取締役総務局長	篠原 光秋
静岡県立総合病院院長	神原 啓文
静岡県立総合病院副院長	土井 修

(6) 議 題 ア当院の活動状況及び今後の活動予定

①病診連携の状況

②病診連携の取組

③委員会設置要綱の一部改正

イ質疑応答

医師派遣について

在宅医療について

周術期口腔ケアについて

PET の利用状況について

ふじのくにねっとについて

注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

10 患者相談の実績

患者相談を行う場所	医療福祉相談室・総合相談センター・病棟面談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	MSW 3名・看護師 3名
患者相談件数	7,427 件
患者相談の概要	
退院調整	
	件数
在宅	343 件
転院 (リハビリ病院)	289 件
転院 (療養型)	241 件
その他 (一般病院等)	11 件
介護老人保健施設	76 件
介護老人福祉施設	4 件
有料老人ホーム等	29 件
グループホーム	18 件
死亡	155 件
中止・終了	6 件
合計	1,172 件
医療福祉相談	
	件数
医療費	796 件
生活費	0 件
社会制度	1,803 件
社会資源	220 件
転院	806 件
在宅	167 件
連絡	1,427 件
心理	0 件
その他	359 件
合計	5,578 件
看護相談	
	677件

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院 開設者との経営上 の関係
勝又小児科アレルギー科医院	勝又 正孝	静岡市葵区紺屋町12-5	小児科、アレルギー科	無
大石内科循環器科医院	大石 達夫	静岡市葵区鷹匠2-6-1	内科、循環器科	無
高野外科胃腸科医院	高野 哲	静岡市駿河区中田1-7-11	外科、胃腸科、整形外科、リハビリテーション科	無
杉浦内科	杉浦 浩策	静岡市駿河区みずほ4-10-10	内科	無
金英幸内科・消化器科クリニック	金 英幸	静岡市葵区北安東3-20-18	内科、消化器科	無
てらむらクリニック	寺村 淳	静岡市葵区千代田6-30-13	内科、神経内科	無
勝田医院	勝田 禎祐	静岡市駿河区曲金1-5-12	内科、小児科	無
天野外科医院	天野 謙	静岡市駿河区見瀬243	外科	無
浅野医院	浅野 英一	静岡市駿河区丸子3丁目12-64	胃腸科、外科、肛門科	無
楮内科医院	楮 賛發	静岡市駿河区小鹿430-3	内科、消化器科	無
大谷はざまクリニック	間 浩明	静岡市駿河区宮川39-20	消化器科、外科、リハビリテーション科、内科	無
田村外科医院	田村 茂樹	静岡市駿河区八幡3-21-26	外科、消化器科、呼吸器科	無
宮下医院	宮下 裕三	静岡市葵区羽鳥1-7-13	内科、消化器科、循環器科	無
青山内科小児科医院	青山 茂夫	静岡市葵区北340-1	内科、胃腸科、小児科	無
追手町クリニック	在原 和夫	静岡市葵区追手町9-28 4F	泌尿器科、内科	無
大石外科胃腸科医院	大石 恒夫	静岡市葵区鷹匠2-6-22	胃腸科、外科、肛門科	無
水谷痛みのクリニック	水谷 彰仁	静岡市葵区鷹匠1-11-15 MIC 新静岡2階	麻酔科、リハビリテーション科	無
こんどうクリニック	近藤 大造	静岡市駿河区下島324	呼吸器科、内科	無
袴田外科医院	袴田 光治	静岡市葵区籠上13-20	外科、胃腸科、放射線科	無
わたなベクリニック	渡辺 憲治	静岡市駿河区南町6-16-104	内科、呼吸器科、小児科	無
菅原泌尿器科	大村 博陸	静岡市駿河区中田本町16-24	泌尿器科	無
今井産科婦人科クリニック	今井 公俊	静岡市葵区末広町117-1	産婦人科	無
石井内科医院	石井 一徳	静岡市駿河区馬淵2-10-20	内科、胃腸科、循環器科	無
伊佐治外科胃腸科医院	伊佐治 悟	静岡市駿河区宮竹1-4-10	外科、胃腸科	無
江良医院	江良 建	静岡市葵区岳美2-13	内科、消化器科	無
三宅整形外科医院	三宅 信昌	静岡市葵区唐瀬1-2-24	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
堀田内科医院	堀田 宗爾	静岡市駿河区宮竹1-4-7	内科、循環器科、神経内科、リハビリテーション科	無
太田外科医院	太田 光	静岡市葵区北2-1	外科、胃腸科、麻酔科	無
白鳥内科医院	白鳥 博	静岡市葵区片羽町58番地	内科、神経内科	無
瀧医院	瀧 欣哉	静岡市葵区城北18	循環器科	無
佐藤外科内科医院	佐藤 泰	静岡市葵区北安東3-3-28	内科、呼吸器科、胃腸科、外科、リハビリテーション科	無
宮城島内科医院	宮城島 善和	静岡市葵区唐瀬1-2-27	内科、胃腸科、循環器科	無
内科循環器科 星野医院	星野 恒雄	静岡市葵区上足洗2-11-45	内科、循環器科	無
泌尿器科 しお医院	影山 慎二	静岡市葵区相生町9-5	泌尿器科、性病科	無
内科 杉山医院	杉山 博道	静岡市葵区水道町10-5	内科	無
吉岡菊川耳鼻咽喉科医院	吉岡 章	静岡市葵区上土2-7-37	耳鼻咽喉科	無
静岡曲金クリニック	真砂 園真	静岡市駿河区曲金3-5-5	内科、皮膚科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
ともの整形外科クリニック	伴野 恒雄	静岡市葵区上土1-1-71	整形外科、リハビリテーション科	無
吉川医院	吉川 正宏	静岡市葵区竜南1-14-31	消化器科、内科、外科	無

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院 開設者との経営上 の関係
平野産婦人科医院	平野 靖雄	静岡市葵区昭和町5-5	産婦人科	無
松田消化器内科クリニック	松田 昌幸	静岡市葵区城北2-4	内科、消化器科	無
舟橋産婦人科医院	舟橋 守	静岡市葵区一番町2-6	産婦人科	無
東泉クリニック	東泉 東一	静岡市葵区昭和町5-4 平野ビル5F	外科	無
おざわ小児科内科医院	小沢 孝雄	静岡市駿河区東新田4-18-65	内科、小児科	無
東新田眼科医院	山中 三千代	静岡市駿河区東新田4-2-33	眼科	無
田中消化器科クリニック	田中 孝	静岡市葵区菅羽町8-3	消化器科	無
岡外科胃腸科医院	岡 慎一郎	静岡市葵区本道西町3-9	外科、胃腸科、肛門科、整形外科、リハビリテーション科	無
服部クリニック	服部 文雄	静岡市葵区羽鳥5-7-30	内科、消化器科	無
高良整形外科医院	高良 一紀	静岡市葵区瀬名中央4丁目5-53	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
大石外科医院	大石 富美男	静岡市駿河区南町12-13	外科、整形外科	無
まつとみクリニック	朝来野 弦	静岡市葵区上伝馬23-18	消化器科、小児外科、外科、肛門科	無
トモノ医院	伴野 隆久	静岡市葵区東鷹匠町2-4	内科、胃腸科、小児科、外科、整形外科、肛門科	無
おおよ整形外科クリニック	佐藤 栄作	静岡市駿河区片山8-15	整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科	無
城西神経内科クリニック	石垣 泰則	静岡市葵区新富町5丁目7-6	神経内科、内科、リハビリテーション科	無
鈴木内科医院	鈴木 英生	静岡市葵区安倍口新田526-3	内科、小児科、循環器科	無
イイダ眼科医院	飯田 文人	静岡市葵区城北9-4	眼科	無
小沢内科胃腸科医院	小澤 道雄	静岡市葵区瀬名川1-29-32	内科	無
松木消化器内科クリニック	松木 啓	静岡市葵区千代田7-7-12	消化器科、内科、胃腸科、肛門科、リハビリテーション科	無
やなぎだ眼科医院	柳田 和夫	静岡市駿河区丸子芹が谷町9番1号	眼科	無
近藤医院	近藤 泰	静岡市駿河区手越310	内科、消化器科、小児科	無
板井クリニック	板井 茂行	静岡市駿河区曲金7-7-19	内科、外科、リハビリテーション科	無
泉町杉山内科小児科医院	石井 令三	静岡市駿河区泉町4-5	内科、小児科、消化器科	無
マイクリニック大久保	大久保 眞二	静岡市葵区川合2-1-20	胃腸科、外科、肛門科	無
高須神経内科医院	高須 健次	静岡市葵区呉服町1-4-5 武田ビル	内科、神経内科	無
静岡市国民健康保険井川診療所	山田 寛	静岡市葵区井川1133-2	内科、外科、小児科	無
宇野医院	宇野 明彦	静岡市駿河区馬淵1-11-15	皮膚科、アレルギー科	無
北村医院・内科・眼科	北村 明	静岡市葵区一番町9	内科、消化器科	無
渡辺内科医院	渡辺 恵	静岡市駿河区池田649-1	内科、呼吸器科、循環器科、小児科	無
杉山医院	杉山 直史	静岡市葵区瀬名川2-23-21	内科、小児科、消化器科、小児外科	無
岩崎胃腸科医院	岩崎 貢	静岡市葵区北番町97-1	胃腸科、外科	無
勝又整形・形成外科医院	勝又 肇	静岡市葵区瀬名川1-27-40	整形外科、形成外科	無
菅野医院分館	菅野 寛也	静岡市葵区瀬名1-7-3	内科、循環器科	無
伊藤医院	伊藤 靖郎	静岡市駿河区梅屋町1-7	耳鼻咽喉科	無
宮田医院	宮田 潤一	静岡市駿河区国吉田4-24-17	消化器科	無
安達内科・循環器科	安達 光宣	静岡市葵区昭府2-22-8	内科、アレルギー科、リウマチ科	無
松成内科クリニック	松成 信彦	静岡市葵区大岩本町7-1	内科、消化器科、神経内科	無
静岡消化器科クリニック	木田 実	静岡市葵区鷹匠1-12-1 青葉園	消化器科、内科	無
内科・循環器科 鑄木医院	鑄木 恒男	静岡市葵区岳美15-50	循環器科、内科	無
望月内科消化器内科クリニック	望月 剛	静岡市葵区新伝馬1-11-23	小児科・内科、消化器科	無
溝口クリニック	溝口 修身	静岡市葵区古庄2-15-26	胃腸科、外科	無

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院 開設者との経営上 の関係
静岡共立クリニック	原 相俊	静岡市駿河区曲金4-1-25	透析内科、腎臓内科	無
松浦内科	朝香 恭子	静岡市葵区水落町12-14	内科、消化器科、循環器科	無
森田クリニック	森田 清文	静岡市葵区上足洗4-1-7	内科、消化器科、肛門科、その他	無
岡本外科クリニック	岡本 恭和	静岡市駿河区曲金4-7-3	外科、乳腺外科	無
ふるかわ北安東クリニック	古川 憲一	静岡市葵区北安東4-5-32	外科、消化器科、整形外科	無
飯室クリニック	飯室 優	静岡市駿河区馬淵4-16-12	内科、循環器科、小児科	無
大坪耳鼻咽喉科	大坪 俊雄	静岡市葵区田町2-141-5	耳鼻咽喉科	無
脇理一郎クリニック	脇 理一郎	静岡市葵区緑町5-3	内科、神経内科	無
秋山外科	秋山 博	静岡市葵区長沼3-2-20	外科、整形外科、胃腸科	無
東新田福地診療院	福地 康紀	静岡市駿河区東新田5-16-10	外科、消化器科、肛門科、整形外科、リハビリテーション科	無
塩川八幡ヒルズクリニック	塩川 和彦	静岡市駿河区八幡5丁目32-10	神経内科、脳神経外科、眼科	無
あさいクリニック	浅井 隆志	静岡市駿河区津島町6-31	胃腸科、肛門科、内科	無
桜井クリニック	桜井 浩二	静岡市駿河区中田本町6-11	内科、消化器科	無
山中整形外科	山中 芳	静岡市駿河区敷地1-28-6	整形外科、リハビリテーション科	無
あきやま呼吸器クリニック	秋山 仁一郎	静岡市葵区呉服町2-2-30	呼吸器科、アレルギー科	無
篠原外科胃腸科医院	篠原 幹男	静岡市葵区安東2-10-16	外科、胃腸科、肛門科	無
ら(羅)眼科	羅 錦登	静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ201-H	眼科	無
佐々木内科循環器科	佐々木 玲聡	静岡市葵区南瀬名町26-39	内科、循環器科	無
大島医院	大島 聡彦	静岡市駿河区用宗1丁目33-3	胃腸科、外科	無
白鳥内科クリニック	白鳥 奈津子	静岡市葵区神明町103番地の2	内科、リウマチ科	無
ふかさわ消化器科・内科	深沢 智基	静岡市駿河区中原502-2	内科、消化器科	無
東静岡クリニック	白川 京左	静岡市駿河区曲金6丁目7-15	内科、消化器科	無
宮下内科クリニック	宮下 豊	静岡市葵区呉服町1-6-7	内科、循環器科	無
やはた内科・循環器内科	鈴木 喜之	静岡市駿河区八幡4丁目7-21	内科、循環器科	無
中川内科小児科医院	中川 欽也	静岡市清水区石川新町8番31号	内科、小児科	無
土屋内科	土屋 友彦	静岡市清水区七ツ新屋2-7-29	内科、循環器科、消化器科	無
松井医院	松井 園生	静岡市清水区千歳町14-39	内科、循環器科、消化器科	無
桜井戸医院	漆畑 勲	静岡市清水区中之郷2-11-26	内科、小児科	無
柴田内科医院	柴田 征也	静岡市清水区西久保318	内科、循環器科、胃腸科	無
渡辺外科医院	渡辺 善明	静岡市清水区草薙一里山3-33	整形外科、外科	無
庄司産婦人科	庄司 潔	静岡市清水区江尻東1-4-1	産婦人科	無
望月クリニック	望月 篤	静岡市清水区大沢町2-14	泌尿器科、外科	無
宮原産婦人科医院	宮原 宏次	静岡市清水区清水村松地先新田13-1	産婦人科	無
杉山医院	杉山 雅彦	静岡市清水区大手3-3-21	内科、胃腸科、整形外科、外科	無
乾医院	乾 達	静岡市清水区西久保1-6-22	内科	無
古沢外科医院	古沢 洋勝	静岡市清水区七ツ新屋427-11	胃腸科、外科	無
望月産婦人科医院	望月 浦棲	静岡市清水区本郷町2-15	産婦人科	無
佐藤医院	佐藤 敬治	静岡市清水区大坪2-3-12	内科、胃腸科、外科	無
松山医院	松山 靖	静岡市清水区梅が岡9-24	内科、放射線科、呼吸器科	無
北村眼科医院	北村 佐千子	静岡市清水区梅田町3-7	眼科	無
小原誠大腸肛門科クリニック	小原 誠	静岡市清水区宮加三88-1	肛門科、胃腸科、外科	無
山田医院	山田 雄三	静岡市清水区緑ヶ丘町15-16	内科、小児科	無
滝戸医院	滝戸 直人	静岡市清水区村松原1-2-5	消化器科、整形外科、循環器科、内科	無
広川医院	広川 亮二	静岡市清水区高橋3-4-40	小児科、内科	無

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院 開設者との経営上 の関係
眞内科クリニック	眞 重雄	静岡市清水区入江南町9-24	内科、リハビリテー ション科	無
浅野医院	浅野 健	静岡市清水区木の下町99	内科、消化器科	無
福地外科循環器科医院	福地 照元	静岡市清水区七ツ新屋2-4-15	整形外科、肛門科、消 化器科、外科	無
清水おかベククリニック	岡部 静也	静岡市清水区押切2131-1	耳鼻咽喉科、アレル ギー科	無
佐々木クリニック	佐々木 寿彦	静岡市清水区押切1738-1	外科、胃腸内科	無
磯貝医院	室井 正彦	静岡市清水区草薙1-15-23	消化器科、循環器科	無
清水スポーツ整形外科	大瀬 真人	静岡市清水区庵原町575-20	整形外科、リハビリ テーション科	無
竹内クリニック	竹内 康史	静岡市清水区追分2-7-15	内科、外科、胃腸科	無

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院 開設者との経営上 の関係
ナカノ歯科医院	中野 健一郎	静岡市駿河区八幡2-2-14	歯科	無
静岡市障害者歯科保健センター	服部 浩	静岡市葵区城東町24-1	歯科、小児歯科	無
わかば歯科クリニック	小木曾 行恭	静岡市葵区新伝馬3-23-32	歯科、小児歯科	無
遠山歯科医院	遠山 孝之	静岡市葵区上石町7-3	歯科	無
大場歯科医院	大場 正道	静岡市葵区太田町12ナカノビル4F	歯科	無
かわした歯科クリニック	川下 亜紀	静岡市葵区鷹匠1-3-11	歯科、歯科口腔外科	無
スミス歯科医院	スミス 京子	静岡市駿河区東新田1-1-48	歯科	無
音羽歯科クリニック	山田 雅夫	静岡市葵区音羽町20-12	歯科、歯科口腔外科	無
狩野歯科	狩野 宏道	静岡市駿河区みずほ1-26-3	歯科	無
八木歯科東新田クリニック	八木 宏明	静岡市駿河区東新田4-11-16	歯科	無
八木歯科	八木 庸行	静岡市葵区伝馬町3-1深尾ビル4F	歯科	無
チワタ歯科医院	千綿 一郎	静岡市葵区呉服町2-1-3	歯科	無
ニシナ歯科医院	塩谷 典子	静岡市葵区田町1-1-3	歯科、小児歯科	無
杉山歯科医院	杉山 和孝	静岡市葵区竜南3-16-25	歯科	無
鳥巢歯科医院	鳥巢 忠男	静岡市駿河区池田243-3	歯科、小児歯科	無
牧野歯科医院	牧野 修	静岡市葵区籠上11-1	歯科	無
田野歯科医院	田野 智彦	静岡市駿河区西脇994-1	歯科、小児歯科	無
ワタナベ歯科第二クリニック	渡辺 澄子	静岡市駿河区大和1-5-16	歯科、小児歯科	無
永田歯科医院	永田 康文	静岡市葵区新富町3-34-3	歯科、小児歯科	無
藤本歯科医院	藤本 寿一	静岡市駿河区用宗4-6-24	歯科、小児歯科	無
土井歯科医院	土井 久栄	静岡市駿河区丸子1-6-68	歯科	無
山内歯科医院	山内 一郎	静岡市葵区北安東4-28-31	歯科、小児歯科	無
ほり歯科医院	堀 芳弘	静岡市葵区新伝馬1-4-5	歯科、小児歯科	無
ふくま歯科クリニック	福岡 智之	静岡市駿河区馬淵4-11-10	歯科、小児歯科	無
朝波歯科医院	朝波 雄二	静岡市清水区上清水町3-10	歯科	無
天野歯科医院	天野 恵夫	静岡市清水区巴町10-9	歯科	無
井川歯科医院	井川 利幸	静岡市清水区神田町1-37	歯科	無
井川歯科医院	井川 智子	静岡市清水区江尻町10-28	歯科	無
グリーン歯科	宇野 毅	静岡市清水区天王南4-20	歯科	無
エガワ歯科医院	江川 正彦	静岡市清水区梅田町2-1	歯科、小児歯科	無
小沢歯科	小澤 孝司	静岡市清水区北矢部町1-14-1	歯科	無
河村歯科医院	河村 孝憲	静岡市清水区草薙3-5-20	歯科	無
ひまわり歯科	塩谷 達彦	静岡市清水区北矢部826-1	歯科	無
志茂野歯科医院	志茂野 稔	静岡市清水区秋吉町2-41	歯科	無
大塔歯科クリニック	大塔 雄二	静岡市清水区八木間町1701	歯科、小児歯科、歯科 口腔外科	無
つちや歯科	土谷 尚之	静岡市清水区庵原町134-19	歯科、小児歯科	無
中根歯科医院	中根 慎介	静岡市清水区折戸5-1-11	歯科	無
宮城島歯科医院	宮城島 賢	静岡市清水区三保312-9	歯科、小児歯科	無
望月歯科	望月 亮	静岡市清水区桜橋町2-1	歯科	無
角田歯科医院	角田 昭一	静岡市清水区由比307-1	歯科	無
平田歯科医院	平田 伸志	静岡市清水区由比町屋原156-3	歯科	無
		医 科	132医療機関	
		歯 科	41医療機関	



【別紙2】

開催時期・会場	研修会名称	参加者
平成24年4月13日（金） もくせい会館	第3回慢性期医療を考える会  一般講演Ⅰ「2025年を見据えた当院の取り組みについて～急性期病院、診療所との連携をふまえて」 医療法人社団宝徳会 理事長 外山 英志  一般講演Ⅱ「摂食困難と評価されたが、その後自力摂食可能となった症例の検討」 静岡広野病院 院長 田宮 健  特別講演「地域のくらしを支える～緩和ケアにおける医療連携～」 ふじ内科クリニック 院長 内籾 いづみ	静岡県立総合病院職員 19人 地域の医療関係者 64人
平成24年4月26日（木） 静岡県立総合病院	第78回薬物療法研修会 「不整脈の処方教室；医療連携のために」 静岡県立総合病院 循環器内科医長 澤田 光紀	静岡県立総合病院職員 11人 地域の医療関係者 100人
平成24年5月17日（木） 静岡県立総合病院	第79回薬物療法研修会 「救急蘇生のエビデンスと薬物について」 静岡県立総合病院 院長代理 野々木 宏	静岡県立総合病院職員 14人 地域の医療関係者 77人
平成24年6月13日（水） 静岡県立総合病院	第80回薬物療法研修会 「透析患者に対する薬物療法上の留意点」 静岡県立総合病院 腎臓内科医長 松尾 陽子	静岡県立総合病院職員 8人 地域の医療関係者 81人
平成24年8月21日（火） 静岡県立総合病院	県民の日講演会 「貴方は愛する人を助けられますか？」 静岡県立総合病院 院長代理 野々木 宏	静岡県立総合病院職員 10人 地域の医療関係者 一般県民 70人
平成24年9月11日（火） 静岡県立総合病院	第82回薬物療法研修会 「糖尿病の新しい治療戦略」 静岡県立総合病院 糖尿病・内分泌代謝センター一部長 井上 達秀	静岡県立総合病院職員 9人 地域の医療関係者 50人

開催時期・会場	研修会名称	参加者
平成24年10月13日(土) ～14日(日) 静岡県立総合病院	緩和ケア研修会	静岡県立総合病院職員 17人 がん治療に携わる地域の 医師 8人
平成24年10月16日(火) 静岡県立総合病院	第83回薬物療法研修会 「最近のワクチン事情」 静岡県立こども病院 静岡県予防接種セン ター長 免疫アレルギー科長 木村 光明	静岡県立総合病院職員 11人 地域の医療関係者 60人
平成24年11月15日(木) 静岡県立総合病院	退院支援・退院調整講演会 「退院支援システムづくり～どう生きたいか に寄り添う、一歩先を予測した看護の視点～」 宇都宮宏子オフィス 宇都宮 宏子	静岡県立総合病院職員 166人 地域の医療関係者 15人
平成24年11月16日(金) ホテルアソシア静岡	平成24年度病診連携総会  第一部：「病診連携の取り組み報告」 静岡県立総合病院 地域医療ネットワークセ ンター  第二部：ラウンドテーブルディスカッション セッション①ふじのくにねっと ②連携パス ③病診連携を語る  学術講演会「新しい高血圧治療を目指して」 静岡県立総合病院 副院長 土井 修	静岡県立総合病院職員 116人 静岡市静岡医師会、静岡 市清水医師会会員 45人
平成24年11月20日(火) 静岡県立総合病院	第84回薬物療法研修会 「安定期COPDの薬物療法」 静岡県立総合病院 呼吸器内科主任医長 白井 敏博	静岡県立総合病院職員 10人 地域の医療関係者 55人

開催時期・会場	研修会名称	参加者
平成24年12月6日（木） 静岡県立総合病院	先端医療プレスセミナー  「地域を繋ぐ医療システム～ふじのくにね っとで繋がる静岡の医療～」 静岡県立総合病院 副院長 森 典子  「3cmの創で行う肺がん手術～習熟した技術 が活きる完全鏡視下肺葉切除術～」 静岡県立総合病院 呼吸器外科主任医長 大田 伸一郎  「難聴への挑戦 ～人工内耳でバイリンガル～」 静岡県立総合病院 副院長 高木 明  「最新放射線診療～診療を支援する放射線 技術～」 静岡県立総合病院 放射線技術室技師長 望月 守  「日本発！国際的心肺蘇生法トレーニング システム」 静岡県立総合病院 副院長 野々木 宏	静岡県立総合病院職員 0人  マスコミ関係者 一般県民 13人
平成25年1月16日（水） 静岡県立総合病院	第86回薬物療法研修会 「エビデンスに基づく機能性食品の効用と 薬・食相互作用」 静岡県立大学 副学長 山田 静雄	静岡県立総合病院職員 12人  地域の医療関係者 39人

開催時期・会場	研修会名称	参加者
平成25年1月18日（金） もくせい会館	第4回慢性期医療を考える会  一般講演Ⅰ「在宅の力～病院から在宅へ繋ぐ ということ～」 訪問看護ステーションもも 統括責任者 高井 由美子  一般講演Ⅱ「当院における胃瘻患者の誤嚥性 肺炎予防の取り組みについて」 コミュニティーホスピタル甲賀病院 副院 長 甲賀 啓介  特別講演「急性期病院から見た地域医療連 携」 尾道市民病院 副院長兼医療安全管理部長 土本 正治	静岡県立総合病院職員 14人 地域の医療関係者 59人
平成25年1月26日（土）・ グランシップ	第1回がん医療公開講座 講演1 がんのつらさを癒す病院総合力 とは 講演2 胃がんについて ～ピロリ菌と内視鏡治療～ 講演3 体にやさしい手術を目指して ～腹腔鏡手術～ 講演4 胃がんとともに歩む ～腫瘍内科の立場から～ 座談会 ～胃がんを中心に～	静岡県立総合病院職員 10人 地域の医療関係者 一般県民 190人
平成25年2月9日（日） グランシップ	第2回がん医療公開講座 講演1 腎癌に対する最新の治療 講演2 緩和ケアと緩和ケアチーム 講演3 病院と地域をつなぐ退院調整 ～その人らしさを支える～ 講演4 本当に大切なものを求めて ～悲しみの果てから～ 座談会 最後はたたみの上で…	静岡県立総合病院職員 10人 地域の医療関係者 一般県民 190人
平成25年2月21日（木） 静岡県立総合病院	第87回薬物療法研修会 「小児薬物療法のエビデンスは臨床から？」 静岡県立こども病院 薬剤室 平井 啓太	静岡県立総合病院職員 10人 地域の医療関係者 47人

## 静岡県立総合病院 地域医療支援病院運営委員会 次第

日時 平成 24 年 10 月 30 日 (火) 午後 7 時 30 分～

場所 県立総合病院 循環器病センター6階「つつじホール」

1 開会

2 院長挨拶

3 新任委員紹介

4 議題

### (1) 活動状況及び今後の活動予定

①病診連携の状況

②病診連携の取組

### (2) 質疑応答

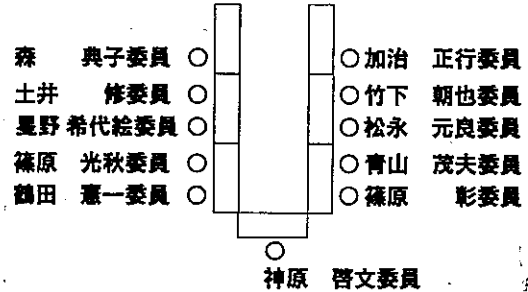
5 その他

6 閉会

静岡県立総合病院  
地域医療支援病院運営委員会

日時 平成24年10月30日(火) 19時30分～  
場所 循環器病センター6階 つつじホール

地域医療支援病院運営委員会 座席表



地域医療支援病院運営委員会 次第

- 1 開会
- 2 院長挨拶
- 3 新任委員紹介
- 4 議長挨拶
- 5 議題 1, 2
- 6 その他
- 7 閉会

地域医療支援病院運営委員会 議題

～活動状況及び今後の活動予定～

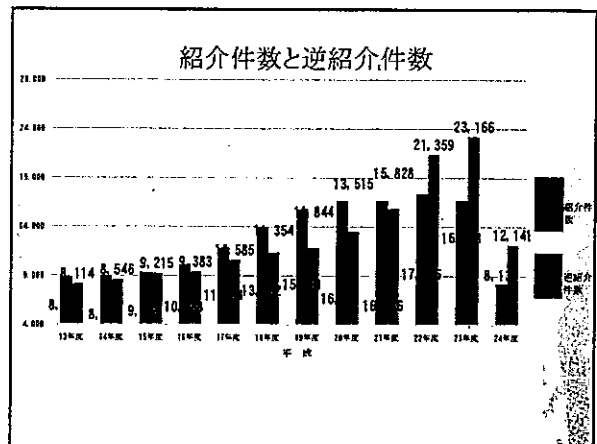
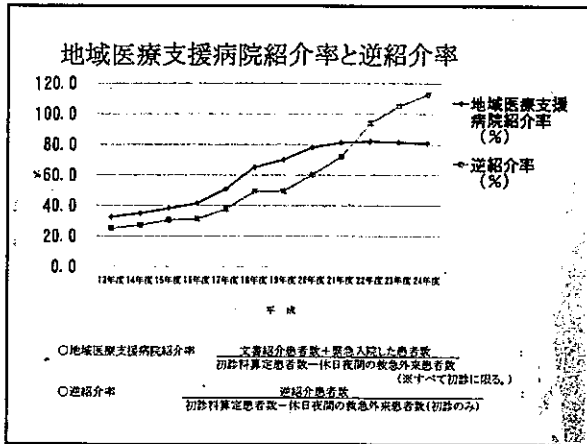
- 議題1 病診連携の状況  
議題2 病診連携の取組

議題1  
病診連携の状況

診療状況

	H22	H23	H24
地域医療支援病院紹介率	82.1%	81.5%	80.9%
逆紹介率	93.8%	105.1%	112.6%
平均在院日数	12.6日	12.4日	12.4日
1日外来平均患者数	1,618人	1,644人	1,633人
一般病床利用率	93.6%	92.4%	90.3%

※H24・・・24年4月～24年9月分

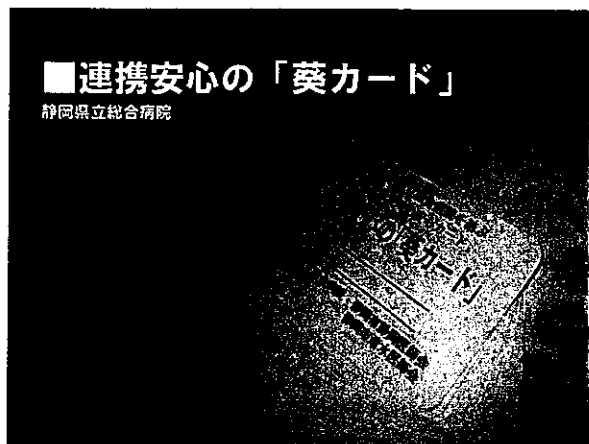


## 地域医療連携 ネットワークシステム

静岡県立総合病院

### 疾患別ネットワーク登録者数 (単位:人)

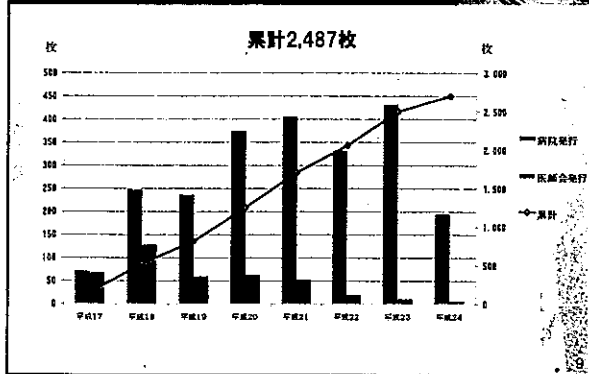
疾患	患者種別	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	計
		年度	年度	年度	年度	年度	年度(～9月)	年度	
届卒中	発症者	3	70	76	45	28	50	20	292
	リスク者		2	2	3	6	14	6	33
慢性腎疾患 (CKD)	-	19	84	521	62	36	89	38	380
前立腺癌	静岡	15	18	1	1	19	11	20	85
	清水	9	4	1	2	13	5	10	44
	その他	2	2	1			1	3	9
Sネット	胃癌	-	14	90	85	54	88	47	378
	大腸癌	-	8	50	130	102	138	70	498
	乳癌	-	5	3	9	33	87	59	196
	肺癌	-				1	1		2
計		48	207	276	337	282	484	273	1917



### 発行枚数

連携元	運用開始
静岡医師会	平成17年12月～
清水医師会	平成18年7月～
当院	平成17年12月～
<b>計 2,487枚</b>	
(平成24年9月末現在)	

## 発行枚数

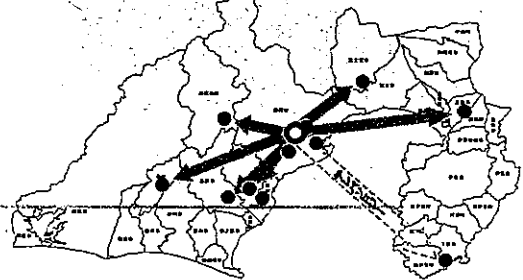


## 科別の内訳等

科別の内訳 (当展発行分2,073枚のうち上位3科、平成24年9月末現在)

外科	1,150枚	55%
循環器科	608枚	29%
乳腺外科	128枚	6%

## 平成24年度 県立総合病院の医師派遣



平成23年度派遣延人数 合計766人  
平成24年度(9月まで)派遣延人数 合計292人

## H24年度 医療機関への診療応援

派遣先病院名	派遣医師診療科	派遣日	延人数 (4月～12月)
川根本町 いやしの里診療所	総合診療科	4月～8月 毎週水曜日 の午後から土曜日午 前	78
公立森町病院	糖尿病・内分泌内科	月1回 (火曜日又は金曜日)	5
	呼吸器内科	毎月第1火曜日	5
	消化器内科	月1回(木曜日午後)	5
富士宮市立病院	呼吸器内科	毎週金曜日	24
静岡厚生病院	腎臓内科	正規医師 毎週金曜日	24
		有期医師 毎週月曜日	24
三島社会保険病院	腎臓内科	毎週木曜日	18

## H24年度 医療機関への診療応援

派遣先病院名	派遣医師診療科	派遣日	延人数 (4月～12月)
市立島田市民病院	消化器内科	毎週月・水曜日(午後)	23
つばき静岡	時間外対応	毎週水・木曜日 夜間 毎週日曜日 昼夜	106
志太・榛原地域 救急医療センター	夜間救急	毎週金土日のうち1日 (月ごとに変更)	26
焼津市立総合病院	神経内科	4月～9月 毎日 10月～ 毎週金曜日	-
	循環器内科	月2回(金曜日)	12
沼津市立病院	腎臓内科	1月～ 毎週水曜日	21
清水厚生病院	糖尿病・内分泌内科	毎週金曜日	19
藤枝市立総合病院	腎臓内科	毎週火曜日	22

## H24年度 医療機関への診療応援

計 12カ所			292
--------	--	--	-----

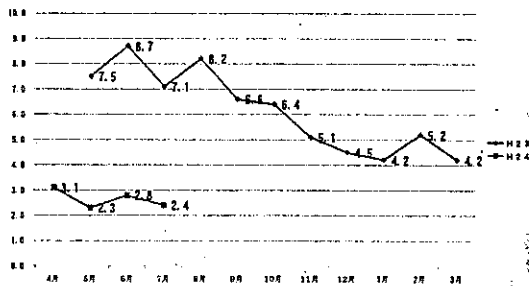


## 議題2 病診連携の取組

### 紹介患者の返書作成率の向上

- ◆ 1 医局会において、毎月の各診療科ごとの未作成率を発表し、作成率の向上を図っている。
- ◆ 2 未作成患者リストを医師に配布し、作成を促している。

H23・24返書未作成率(翌月末時点)



### 第3回慢性期医療を考える会の開催

日時 平成24年4月13日(金)  
 会場 もくせい会館 富士ホール  
 内容 一般講演 I 『2025年を見据えた当院の取組みについて  
 ～急性期病院、診療所との連携をふまえて』  
 医療法人社団 宝徳会理事長 小堀病院院長 外山 英志  
 一般公演 II 『接触困難と評価されたが、その後自力摂食可能となった症例の検討  
 静岡広野病院 院長 田宮 健  
 特別講演『地域のくらしを支える～緩和ケアにおける医療連携～』  
 ふじ内科クリニック 院長 内藤 いづみ

参加人数 84名  
 内訳 当院20名、病院24名、介護関係31名、その他9名

### 第4回慢性期医療を考える会の開催

日時 平成25年1月16日(金)開催予定  
 会場 もくせい会館 富士ホール  
 内容 一般講演 I 病院長講演予定  
 一般公演 II 医療チーム講演予定  
 特別講演『急性期病院における病診連携(仮)』  
 尾道市民病院 副院長 土本正治

参加人数 84名  
 内訳 当院20名、病院24名、介護関係31名、その他9名

### 病診連携総会の開催

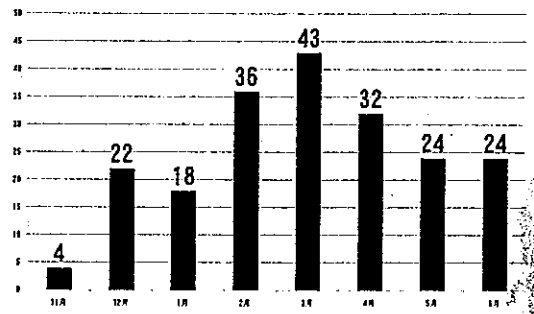
日時 平成24年11月16日(金)開催予定  
 会場 ホテルアソシア静岡 3階 駿府  
 内容 第一部 病診連携の取り組み報告(地域連携バスについて)  
 第二部 ラウンドテーブルディスカッション  
 ①ふじのくにねっと  
 ②地域連携バス  
 ③病診連携を語る  
 学術講演会「新しい高血圧治療を目指して」  
 意見交換会 診療科及び各部署パネル展示  
 参加予定人数 約200名

### 病診連携予約 時間外FAXの受付

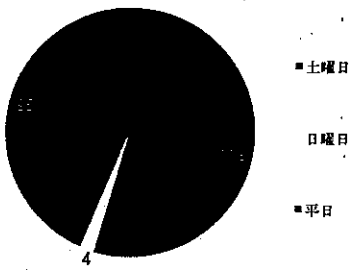
◆平成23年11月25日から  
時間外FAX受信の受付開始  
平日 19時～翌朝8時30分  
土日祝祭日 24時間

次の診療日の8時半以降に予約表を送付

### 病診連携予約 時間外FAXの受付



### 病診連携予約 時間外FAXの受付



### 医療資源共同利用

- ◆県内中部地域の公的病院に呼びかけ、当院のCT/MRIを共同利用している。
- ◆開始時期:平成22年2月～
- ◆契約機関:8病院
  - 静岡市立清水病院
  - 静岡赤十字病院
  - 静岡済生会総合病院
  - 静岡てんかん・神経医療センター
  - 清水厚生病院
  - 社会保険桜ヶ丘総合病院
  - 焼津市立総合病院
  - 市立島田市民病院

### 医療機器共同利用(CT・MRI)の状況

平成24年9月末現在 (単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	
CT	単純							
	造影			1			1	
MRI	単純	10	6	10	9	9	8	52
	造影	3						3
計	13	6	10	10	9	8	56	

### ふじのくにねっと現況

参加医療機関 開示移設及び開示件数

病院名	開示件数
静岡県立総合病院	3,077
焼津市立総合病院	33
藤枝市立総合病院	32
市立御前崎総合病院	6
静岡済生会総合病院	28
社会保険桜ヶ丘総合病院	49
川根本町蓮しの里診療所	11
(富士中央病院)	(試験開示中)
総計	3,236

◆ 参照施設

地区	参照施設
葵区	41
駿河区	12
清水区	13
焼津市	6
藤枝市	4
榛原郡	3
菊川市	3
島田市	1
磐田市	1
富士市	5
総計	92

ふじのくにねっと活動記録

- ◆ H24. 4. 1 病薬連携の試行開始  
(運用部会下に病薬連携WG設置、以降毎月開催)
- ◆ H24. 4. 20 運用部会下に病病連携WG設置
- ◆ H24. 4. 23 運用部会
- ◆ H24. 5. 25 運用部会
- ◆ H24. 5. 28 第一回理事会

ふじのくにねっと活動記録

- ◆ H24. 6. 7 病診(歯科)連携のため  
静岡歯科医師会初訪問  
→これ以降、働きかけのため  
静岡県歯科医師会、静岡市清水歯科  
医師会訪問  
10/30、清水歯科医師会にて全体説明

ふじのくにねっと活動記録

- ◆ H24. 7. 17 組織拡張部会
- ◆ H24. 7. 25 運用部会
- ◆ H24. 9. 28 運用部会
- ◆ H24. 10. 15 第二回理事会  
→病薬連携本格稼働開始、  
病訪連携試行開始

※院内でも運営部会を作り議論を行う。

救急救命センター開設

平成25年4月から、救急救命センターが開設、運用が開始されます。



静岡県立総合病院

## 地域医療支援病院運営委員会議事録

- 1 開催日時 平成 24 年 10 月 30 日 (火) 19:30~20:20
- 2 会場 静岡県立総合病院 循環器センター6階 つつじホール
- 3 出席者 別添のとおり
- 4 委員会
  - (1)院長挨拶
  - (2)新任委員紹介
  - (3)議事

(神原議長)

それでは、議案 1 の活動状況及び今後の活動予定について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

病診連携の現状について、ご説明致します。平成 23 年度紹介率は 81.5%、逆紹介率は 105.1%、平均在院日数は 12.4 日、1 日外来平均患者数は 1,644 人、一般病床利用率は 92.4%、平成 24 年度は 9 月末現在の数値ですが、紹介率 80.9% 逆紹介率 112.6%、平均在院日数 12.4%、1 日外来平均患者数 1,633 人、一般病床利用率 90.3%でした。いずれも診療報酬の施設基準にある要件は満たしております。

推移でございますが、紹介率は横ばいで、逆紹介率は上がっております。これは、実数で見ると、紹介数は横ばい、逆紹介数は増えており、紹介率、逆紹介率も同様になっているというのが現状でございます。

連携パスのデータについては、現在、診療所との遣り取りが活発なものを紹介いたします。平成 18 年度開始以来累計で脳卒中発症者数 292 人、同リスク者 33 人、慢性腎疾患 380 人、前立腺癌静岡地区 85 人、同清水地区 44 人、同その他 9 人、S ネット胃癌 378 人、大腸癌 498 人、乳癌 196 人、肺癌 2 人となっており、合計 1,917 人となっております。

葵カードについては、現在 2,487 枚が発行されております。発行枚数の年度推移は、若干の多寡はありますが、同じような発行枚数で推移しております。診療科別の内訳ですが、外科 55%、循環器科 29%、乳腺外科 6%と外科と循環器内科で良く使われております。

医師派遣でございますが、平成 23 年度延べ人数で 766 人、平成 24 年 9 月までで 292 人となっております。川根本町いやしの里診療所に清水先生が行かれており 78 人、公立森町病院には各科から 5 人、富士宮市立病院 24 人、静岡厚生病院 24 人、三島社会保険病院 18 人、これは腎臓内科有期医師が他の病院へ行くことになったためです。市立島田市民病院 23 人、つばさ静岡病院 106 人、志太・榛原地域救急医療センター 26 人、焼津市立病院 32 人、今年度、新たに行くようになりましたのは、沼津市立病院 21 人、清水厚生病院 19 人、藤枝市立総合病院 22 人の 3 施設です。

(神原議長)

議題1に対して、何かご質問がございましたらお願いします。

(加治委員)

逆紹介率が伸びている理由は、その分母にあるのですか。数式を見ると100%超となることは当然あるというのは分かりますが、それは休日夜間の救急外来患者数が増えているのが主な原因なののでしょうか。

(事務局)

分子である逆紹介患者件数が増えているためというのが理由だと思います。

(加治委員)

救急患者が増えているわけではないということですね。

(神原議長)

多分、その基には救急でこられて、その方が逆紹介されている例もあると思いますので、救急が一定の役割を占めているということですが、具体的な数までは分かりません。

(鶴田委員)

今の質問は、休日夜間の救急外来患者数(初診のみ)の数字がどのような状況にあるかについて聞きたいということではないのでしょうか。

(神原議長)

内訳は分かりませんが、そういう傾向にあるということだと思います。

(土井委員)

総合入院体制加算というものが、極力地域の先生に診てもらおうということを指導しておりますので、それも一因となっているのではないかと思います。

(篠原彰委員)

この制度ができた当時から、逆紹介率の定義が非常に不明瞭で、我々が紹介状を書いた患者に返事をいただくという逆紹介もあれば、救急入院患者を近所の医者に逆紹介する例も含まれます。制度ができた経緯は、病院と診療所との役割分担、病院は病院機能に特化、外来患者数を減らすことを主な目的に作られたと思っています。逆紹介率が施設要件になった時から問題になっているわけで、100%を超える状況であれば、県立総合病院について問題ないと思っているが、その点を病院としてどう考えているのかお聞きしたいと思います。

(神原議長)

逆紹介率の中に救急を含めていますが、今後は、それを分けたものを出した方が良く考えています。小分けしたものを是非作っていききたいと思います。

(篠原彰委員)

例えば、112%という数字は、複数科に罹られている患者さんについては、1人の患者さんに対して3件とカウントされている、だから112%になるということですね。

(神原議長)

延べと1人あたりの件数を出せば、その方がいいのかもしれませんが、出せるかどうか分かりませんが。

(篠原彰委員)

病院によっては、紹介率、逆紹介率をいっぱいいっぱい地域医療支援病院の条件を満たしている所もあると思っています。一人の患者に2通、3通も出して、患者実数でいうと要件を満たしていないのではないかなと以前から懸念しております。県立総合病院については、問題意識は持っておりません。

(神原議長)

他にございませんか。では、議題2であります病診連携の取組に移らせていただきます。

(事務局)

返書作成率の向上について、未作成リストを作成しております。毎月の医局会で返書の作成を医師に促しているところであり、従来、未作成率が7~8%あったものが、現在では3%を切るまでに下がっており、医局会での周知が効果を発揮しているものと思います。

慢性期医療を考える会を行っており、第3回は4月13日(金)に開催し、参加人数は84名でした。今年は2回開催していただきたいとの要望が多く、第4回を平成25年1月18日(金)に行います。チーム医療の講演のほか、尾道市民病院の副院長による講演を計画しています。

病診連携総会を11月16日(金)に開催します。第1部として連携パスについて、第2部としてラウンドテーブルディスカッションということで診療所の先生方から話を聞く機会を設けます。医学講演、意見交換会を予定しています。

時間外FAXについては、平日19時~翌朝8時まで、土日祝日は24時間受診しており、その受付は翌診療日8時半以降に確認している。実際どれだけ来ているかは25~30件が平均です。いつ来るかについては、土曜日が一番多い、診療所が開院されている時間帯が多いです。

医療資源共同利用については、8病院の状況です。現在、MRIが52件と一番多くなっています。理由として、各病院の機器整備が進み利用が少なくなってきたことが考えられます。てんかん医療センター52件、静岡赤十字病院が造影剤を使ったCT1件とMRI3件です。

ふじのくにねっとについて、開示病院は今後森町、菊川病院へと拡大していく予定です。参照施設としては、92施設です。前回から37施設増えております。病薬連携の試行や、病病連携について救急医療を考えて話を進めています。また、歯科診療所とも連携を始めつつあり、明日清水歯科医師会にて全体の説明会を開催します。10月15日に第2回理事会を開催し、病薬連携や訪問看護ステーションとの連携について了承されました。現在、様々な分野で拡大しているところです。

救急救命センターについては、25年4月から開設する予定です。

(神原議長)

返書率については未作成率が0%にはならないですが、現在、努力しているところです。医療資源共同利用については、各病院の機器整備が充実してきたため、利用率が下がっています。PET/CTは、相変わらず件数をこなしていますが、CTは絶対数が増えています。

ふじのくにねっとについて、開示施設とは、病院のカルテを開示する施設という意味です。川根本町いやしの里は電子カルテ導入により可能となりました。参照施設とは、病院

のデータを参照する診療所のことです。さらに、薬局や訪問看護ステーションにも今後拡大する予定です。何かございましたらお願いします。

(松永委員)

慢性期医療を考える会は、昼間やるのですか夜やるのですか。

(土井委員)

夜です。

(松永委員)

それならば、皆さん参加できますね。それから、返書未作成率で1.4%は同じドクターですか、それとも別の方ですか。

(土井委員)

別です。これまで、個別に指導して大分良くなってきました。どうしても診断がつかない患者さんが残る場合があり、完全には0%にならないのです。

(竹下委員)

うちの場合は、100%なのですが、折角紹介されてきて返書が出ないという理由は把握されているのでしょうか。

(土井委員)

理由については正確には把握していませんが、結論が出るまでは書かない先生もおられ、1ヵ月経っても結果が出ていないことがあるので、その際は、中間報告を書くように指導しています。また、電話で話した場合で書かない場合もあると思います。

(加治委員)

時間外 FAX についてですが、逆に以前は時間外には送れなかったのですか。FAX は 24 時間いつでも受けられると思っておりましたが。

(森委員)

地域連携室で受けていたため、夜中は FAX が来ているかどうか分からないということで、FAX を切っていました。FAX を送った側は受けとっただろうと思って、救急に患者さんが行かれることもあって問題になったこともありました。しかし、それは送る側のことを考えていなかったため、地域連携室から救急外来へ自動転送し、夜間の救急の受付もできるようにしました。

(篠原彰委員)

県医師会で、県内の地域医療支援病院にアンケート調査を実施しています。これは、国の方で「特定機能病院と地域連携支援病院の在り方研究会」が3年程前から開催され、現在止まっていますが、全国の都道府県及び地域医療支援病院に対してアンケート調査を行うことになっているようです。未だ動いていないのですが、それに先立って、日本医師会の中川担当部会長から3ヵ月程前に、都道府県の医師会に対して、地域医療支援病院の実態についてアンケートを実施する旨の話がありました。

なぜこのようなアンケートを実施することになったかについて、地域支援病院400超が承認され、ここ2、3年で全国の自治体病院を中心に承認されているわけですが、診療報酬上の評価にある機能を果たしていないと懸念される所もあり問題ではないかという現状に

ついでに危惧があるからです。県内は19病院が認められており、全国的には東京都や愛知県よりも多く、多いことの是非は別なのですが、逆紹介が認められるようになってから、急に手を上げたという点があり、違和感を覚え、私も県の医療審議会でも発言させていただいたところです。

ご存じない方もおられるかと思いますが、第3次医療法改正で、全国に80程ある医師会病院をベースに地域医療支援病院は作られています。原則的には、完全な紹介外来というところから始まっており、紹介率80%、それ以外にも、医療機器の共同利用、研修、救急医療、オープン病床などの要件があり、かなりハードルが高かったのですが、逆紹介が認められて急にとり易くなったということです。

機能をちゃんと果たしてくれていけば問題はないわけであり、県立総合病院については何の文句はないですし、静岡の中では、静岡市静岡医師会、静岡市清水医師会ともに、病院との連携は問題ないと聞いていますが、他の地域については現在調査をしています。

医療費削減を目指している財務省や事業仕訳により、今後、地域医療支援病院は無くなってしまいうこともあり得るということをお伝えしておきたいと思います。ちゃんとやれている病院はいいのですが、もし、ちゃんとやれていない病院が沢山あれば、しっぺ返しがあり得るということについても、今回は運営協議会ということでもありますので、運営に関わることという意味でお伝えしておきます。

(神原議長)

これまでも幾度となくお聞きしておりましたが、篠原彰委員より改めてお話しいただきました。あまり偉そうなことは言えませんが、当院は診療の王道を行こうと思っています。例え、地域医療支援病院が無くなったとしても、紹介された患者さんを診る立ち位置にあるということで、数値は後からついてくるものと理解しております。

(篠原彰委員)

研修については、何回やりましたという報告があるのですが、できるだけ近隣の特に診療所の先生に出て頂くことが、地域医療の支援という意味では相応しいと考えます。先ほども高額医療機器の利用について、8病院との契約があつてという話がありましたが、やはり地域の診療所の件数が報告できたらいいと思います。また、救急救命センターの話がありましたが、救急の実態というの、今後報告をする時に問題となってくると思います。たぶん、間違いなく今年中くらいには、国の調査が入ります。既にフォーマットが出来ており、救急患者がどの程度いるのかということをチェックしておいた方がいいと思います。オープン病床をやっている方がいいのですが、計画の中にはあるんだということを書いておいた方がよいと思います。私も一生懸命勉強をしている最中であり、またお尋ねいただければ、日本医師会と連携して今やっていますので。運営にかかわることですのでお話ししました。

(神原議長)

オープンベッドについては、なかなか利用が少なく10床しかなく、稼働率は20%程度です。以前が45%くらいは行っていました。

(篠原彰委員)



十分だと思います。診療所の先生が出て行くのはなかなか難しいので。

(土井委員)

画像診断に関しましては、診療所の先生は放射線科と連携されておりまして、かなりの画像診断をつけていただいた紹介患者があると思いますので、機器の素利用というか画像だけ送るという形で160件ほど診断無しで行う、そういう連携をしております。

(篠原彰委員)

共同利用という言葉が難しいので、紹介していただいて、それをちゃんと返しているということであれば、それで宜しいかと思しますので、アンケートに書き込んで下さい。

(神原議長)

近隣の医師会ということで、青山先生、また宜しくお願いします。色々な会議が多く、先生方も大変ですし、お声掛けするのも気が引ける感はあるのですが、いずれにしましても、引き続き、企画していきたいと思しますので宜しくお願いします。

(鶴田委員)

議題1を含めての質問ということでいいでしょうか。診療状況についてですが、一つは、一般病床利用率と平均在院日数との関連で質問しますが、基本的に総合病院は、平均在院日数も短く、一般病床利用率も高く、非常に忙しいと思いますが、あえて言えば土日に患者さんは帰るため、土日が8割で、他の月から金曜日が100%入院しても稼働率94.2%と。6割だと88%くらいと、7割だと90.4%ということで、本来、月から金曜日で100%でもそういう数字になるわけですよ。それで、90%維持するのは非常に大変だと思います。

平均在院日数が半分になると、忙しさが2倍になるという中で、ずっと下げてこられている訳で、重症患者と忙しさが増えていると思えます。そういう中で、クランクの導入等医師の過重労働を減らすためにされていると思えますけれども、一つの質問として、病床利用率が下がっている何かということについて状況をお伺いしたいと思えます。

次は、現在、医療機関は消費税問題が大きな課題となっており、医療費が36兆円の3%程度増加すると大体1兆円規模の増となります。損益みたいに、器械を買う時は消費税をもらって、診療費からは消費税をもらわないので、1兆円の掛かる部分と掛からない部分とがあって、5千億円近くはいくのではないかと思うのですが、現時点において、総合病院の消費税負担部分は5%上がったら、どのくらいになるかという数字を分かれば教えて欲しいのです。消費税は、病院に入るのではなく、国庫に入る話なわけで、その分だけ病院は負担が多くなって、今、収支率からみると、100億円あって1億円程度が日本の平均ですので、すごく大きな経営負担となってきますので、そこの数字を教えて欲しいのです。

もう一つ未収金の問題があって、これは意見ですが、収入が100億円あれば、0.16%か0.2%くらいと言われている。そのうち収益が1億だとすれば0.16というのは2割くらいになり、未収金問題は経営的に大きな問題であるという意見です。

三つ目として、特定機能病院について、篠原彰委員に県医師会を介して日本医師会への要望としてお願いしたいことですが、現在、特定機能病院を静岡がんセンターが申請している。我々は国立がんセンター、がん研有明病院、そして静岡がんセンターが日本の三大がんセンターと思っており、静岡県民のためにも、是非特定機能病院に認められるように

ご支援をお願いしたいと思います。

(神原議長)

3つ目の質問はさておき、まず、一つ目の質問についてですが、一般病床利用率ですけれども、週末には減りまして大体80%、週日は、6、7月くらいには100%近くありましたが、最近は少し減りまして96から98%になっており、結果、平均90%となっています。この原因が良く分からないのですけれども、入院患者数が全国的に減ってきているということで、自治体病院の中でのことですが4から5%減少しているということです。景気の影響かどうかは分からないのですが、我々の問題とすれば、診療所からの紹介患者数が減っているということになるわけですが、患者さんがより健康になってきているとも思えないんですが、良く分かりません。

2つ目の税率の件については、昨年調べた時は、3%アップということで調べましたが約3億円くらいです。1%1億円くらいということでした。未収金は、毎年1千万円くらい出てくるので、やはり大きい。0.5%程度あると思います。確信犯的なものもありますので、それに対して、今日も未収金について、誓約書をとるかどうかについて議論をしたところです。本当に払えない人は払えないわけで、色々な手続きを取れば病院にいくらか入るわけですが、これは国保や社保が払ってくれれば良いとも思いますが、なかなか難しい話です。

以上ですが、宜しいでしょうか。では、色々のご意見をいただきまして、ありがとうございました。今後ともご指導をいただければと存じます。その他、特にありますか。

(事務局)

その他として、設置要綱について表現の変更をお願いしたいと思います。第6条について、委員会開催を年1回以上という表現を複数回に改めさせていただければと思います。

(神原議長)

異議はありますか。

(一同、異議なし)

(神原議長)

それでは、変更につき了承されたということで、ありがとうございました。

## 静岡県立総合病院 地域医療支援病院運営委員会 次第

日時 平成 25 年 3 月 5 日 (火) 18 時 30 分～

場所 県立総合病院 循環器病センター6階「つつじホール」

1 開会

2 院長挨拶

3 議題

(1) 活動状況及び今後の活動予定

①病診連携の状況

②病診連携の取組

(2) 質疑応答

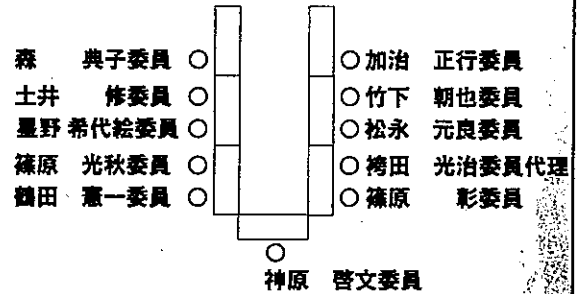
4 その他

5 閉会

静岡県立総合病院  
地域医療支援病院運営委員会

日時 平成25年3月5日(火) 18時30分～  
場所 看護部病センター6階 つつじホール

地域医療支援病院運営委員会 座席表



地域医療支援病院運営委員会 次第

- 1 開会
- 2 院長挨拶
- 3 新任委員紹介
- 4 議題1, 2
- 5 その他
- 6 閉会

地域医療支援病院運営委員会 議題

～活動状況及び今後の活動予定～

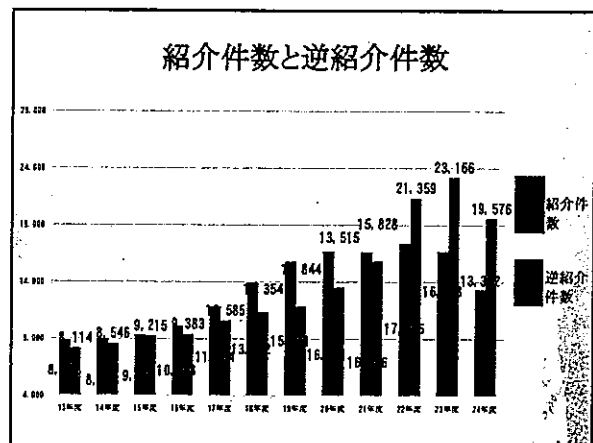
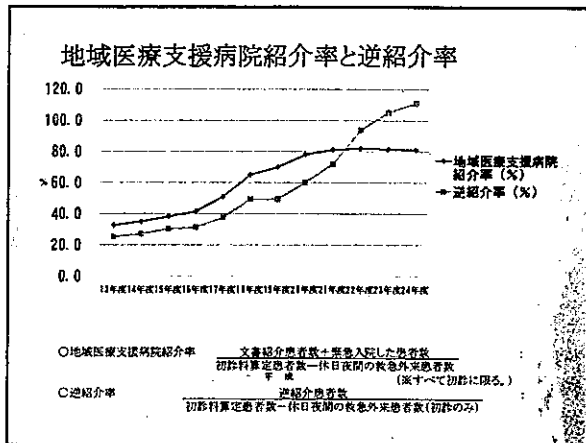
- 議題1 病診連携の状況  
議題2 病診連携の取組

議題1  
病診連携の状況

診療状況

	H22	H23	H24
地域医療支援病院紹介率	82.1%	81.5%	81.1%
逆紹介率	93.8%	105.1%	111.1%
平均在院日数	12.6日	12.4日	12.4日
1日外来平均患者数	1,618人	1,644人	1,636人
一般病床利用率	93.6%	92.4%	89.9%

※H24・・・24年4月～25年1月分



### 総括

- ◆ 紹介率は横ばいである。
- ◆ 逆紹介率は例年と変わらず上昇している。
- ◆ 紹介数も横ばいである。
- ◆ 逆紹介率は例年上昇していたが、今年度は横ばいとなる予定である。

### 分析 I

→ 逆紹介について、なぜ100%を超えて上昇しているか。

逆紹介率は  $\frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}}$

この2つの数字を比較する必要がある。

※そもそもなぜ100%を超えるのか。

→ 県立総合病院の特徴として、再診数が多く初診数が少ないため。

### 分析 I

逆紹介患者数(いずれも当年度1月までの比較)

22年度	23年度	24年度
17,376	19,076	19,516

初診患者数(いずれも当年度1月までの比較)

22年度	23年度	24年度
20,830	20,354	18,010

逆紹介患者数は増えているが、初診患者が22→23年度は横ばい、23→24年度は減少しているので逆紹介率が上昇している。

### 分析 II

- ◆ 紹介されてきた患者を、元の診療所に返しているかどうか。
- 地域医療ネットワークセンター(病診連携室)を通じた紹介については、統計をとっている。

## 分析Ⅱ

平成24年度4月～1月末

	紹介総数	元の施設へ	異なる施設へ	逆紹介なし
件数	14,331	10,295	3,060	976
比率(%)	-	72%	21%	7%

→以上より、7割は元の施設に戻っている。

## 地域医療連携

## ネットワークシステム

静岡県立総合病院

## 疾患別ネットワーク登録者数

(単位:人)

12		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(～1月)	計
冠卒中	発症者	3	70	76	45	28	50	24	296
	リスク者	-	2	2	3	6	14	7	34
慢性腎疾患 (CKD)		-	19	84	52	62	36	89	396
前立腺癌	静岡	15	18	1	1	19	11	24	89
	清水	9	4	1	2	13	5	13	47
	その他	2	2	1	-	-	1	4	10
Sネット	胃癌	-	14	80	85	54	88	96	427
	大腸癌	-	8	50	130	102	138	117	545
	乳癌	-	5	3	9	33	87	102	239
	肺癌	-	-	-	-	1	1	-	2
IHD	-	-	-	-	-	-	-	5	5
計		48	207	276	337	292	484	446	2090

## ■連携安心の「葵カード」

静岡県立総合病院

## 発行枚数

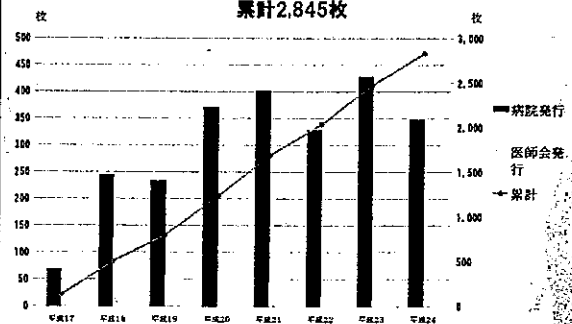
連携元	運用開始
静岡医師会	平成17年12月～
清水医師会	平成18年7月～
当院	平成17年12月～

計 2,845枚

(平成25年1月末現在)

## 発行枚数

累計2,845枚

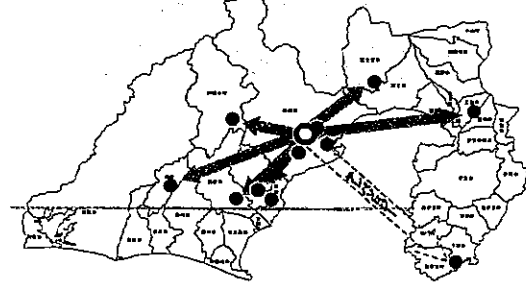


## 科別の内訳等

科別の内訳 (当院発行分2,327枚のうち上位3科、平成25年1月末現在)

外科	1,320枚	57%
循環器科	625枚	27%
乳腺外科	188枚	8%

## 平成24年度 県立総合病院の医師派遣



平成23年度派遣延人数 合計766人  
平成24年度(1月まで)派遣延人数 合計623人

### H24年度 医療機関への診療応援

派遣先病院名	派遣医師診療科	派遣日	延人数 (4月~1月)
川根木町 いやしの里診療所	総合診療科	毎週水曜日 午後から土曜日午前	(161)
公立森町病院	糖尿病・内分泌内科	月1回 (火曜日又は金曜日)	10
	呼吸器内科	毎月第1火曜日	10
	消化器内科	月1回(水曜日午後)	10
富士宮市立病院	呼吸器内科	毎週金曜日	40
静岡厚生病院	腎臓内科	正規医師 毎週金曜日	39
		有期医師 毎週月曜日	—
三島社会保険病院	腎臓内科	毎週水曜日	39

### H24年度 医療機関への診療応援

派遣先病院名	派遣医師診療科	派遣日	延人数 (4月~1月)
市立島田市民病院	消化器内科	毎週月・水曜日(午後)	36
つばさ静岡	時間外対応	毎週水・木曜日 夜間 毎週日曜日	210
志木・榛原地域 救急医療センター	夜間救急	毎週金土日のうち1日 (月ごとに変更)	52
焼津市立総合病院	神経内科	4月~9月 毎日 10月~ 派遣なし	23
	循環器内科	月2回(金曜日)	(20)
社会保険桜ヶ丘病院	産婦人科 (子宮がん検診)	6月~12月木曜日	29
沼津市立病院	腎臓内科	1月~ 毎週水曜日	41
清水厚生病院	糖尿病・内分泌内科	毎週金曜日	38

### H24年度 医療機関への診療応援

派遣先病院名	派遣医師診療科	派遣日	延人数
藤枝市立総合病院	腎臓内科	毎週火曜日	45
計 13カ所			623

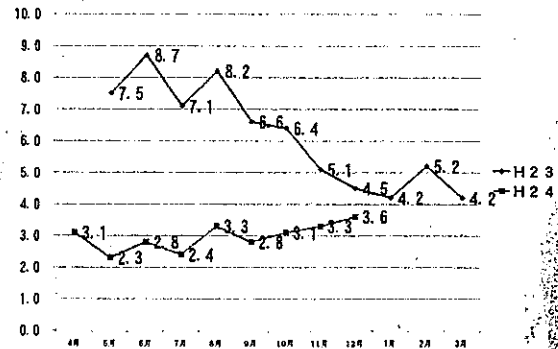
## 議題2

## 病診連携の取組

## 紹介患者の返書作成率の向上

- ◆ 1 医局会において、毎月の各診療科ごとの未作成率を発表し、作成率の向上を図っている。
- ◆ 2 未作成患者リストを医師に配布し、作成を促している。

## H23・24返書未作成率(翌月末時点)



## 第3回慢性期医療を考える会の開催

日時 平成24年4月13日(金)  
 会場 もくせい会館 富士ホール  
 内容 一般講演Ⅰ『2025年を見据えた当院の取組みについて  
 ～急性期病院、診療所との連携をふまえて』  
 医療法人社団 宝徳会理事長 小籠病院院長 外山 英志  
 一般公演Ⅱ『接触困難と評価されたが、  
 その後自力摂食可能』となった症例の検討  
 静岡広野病院 院長 田宮 健  
 特別講演『地域のくらしを支える～緩和ケアにおける医療連携～』  
 ふじ内科クリニック 院長 内藤 いづみ

参加人数 84名  
 内訳 当院20名、病院24名、介護関係31名、その他9名

## 第4回慢性期医療を考える会の開催

日時 平成25年1月18日(金)  
 会場 もくせい会館 富士ホール  
 内容 一般講演Ⅰ 18:30～18:50  
 『在宅の力 ～病院から在宅へ繋ぐということ～』  
 演者 訪問看護ステーションもも 統括責任者 高井 由美子 先生  
 一般講演Ⅱ 19:00～19:20  
 『当院における胃腸患者の誤嚥性肺炎予防の取り組みについて』  
 演者 コミュニティホスピタル甲賀病院 副院長 甲賀 啓介 先生  
 特別講演 19:30～  
 『急性期病院から見た地域医療連携』  
 演者 尾道市民病院 副院長兼医療安全管理部長 土木 正治 先生

参加人数 73名  
 内訳 当院17名、病院26名、介護関係27名、その他3名

## 病診連携総会の開催

日時 平成24年11月16日(金)  
 会場 ホテルアソシア静岡 3階 駿府  
 内容 第一部 病診連携の取り組み報告(地域連携バスについて)  
 第二部 ラウンドテーブルディスカッション  
 ①ふじのくにねっと  
 ②地域連携バス  
 ③病診連携を語る  
 学術講演会「新しい高血圧治療を目指して」  
 意見交換会 診療科及び各部署パネル展示  
 参加人数 161名(病院 116名 医師会 45名)

※テーブルディスカッションは、ふじのくにねっとに関する意見が最も多かった。  
 次いで、紹介時の意見や質問が多かった。

## 医療資源共同利用

- ◆ 県内中部地域の公的病院に呼びかけ、当院のCT/MRIを共同利用している。
- ◆ 開始時期:平成22年2月～
- ◆ 契約機関:8病院  
 静岡市立清水病院  
 静岡赤十字病院  
 静岡済生会総合病院  
 静岡てんかん・神経医療センター  
 清水厚生病院  
 社会保険桜ヶ丘総合病院  
 焼津市立総合病院  
 市立島田市民病院



### 医療機器共同利用(CT・MRI)の状況

平成24年1月末現在 (単位:件)

区分		10月	11月	12月	1月	計	年度計
CT	単純	1				2	1
	造影	1	1	1	1	4	5
MRI	単純	7	9	7	6	29	81
	造影			1		1	4
計		9	10	9	7	35	91

### ふじのくにねっと現況

参加医療機関 開示移設及び開示件数(1/16現在)

病院名	開示件数
静岡県立総合病院	3,546
焼津市立総合病院	39
藤枝市立総合病院	32
市立御前崎総合病院	6
静岡済生会総合病院	35
社会保険桜ヶ丘総合病院	62
川根本町蓮しの里診療所	42
富士中央病院	試験開示中
総計	3,782

#### ◆ 参照施設(地域別)

地区	参照施設
駿河区	76
駿河区	15
清水区	20
焼津市	7
藤枝市	4
島田市	1
焼原郡	7
菊川市	1
豊田町	1
袋井市	1
富士市	7
総計	110

#### ◆ 参照施設(種別)

地区	参照施設
診療所	75
病院	9
薬局	22
訪問看護ステーション	4
総計	110

### 救急救命センター開設

平成25年4月から、救急救命センターが開設、運用予定。



静岡県立総合病院

## 地域医療支援病院運営委員会議事録

日時：平成 25 年 3 月 5 日（火）18 時 30 分から 19 時 30 分

場所：静岡県立総合病院循環器病センター6 階つつじホール

（神原院長）

本日はご多忙のところお集まりいただきましてありがとうございます。

早速ですが、事務局より病診連携の状況及び今後の活動予定についてご説明します。

（事務局）

病診連携の現状について、ご説明致します。平成 24 年度（4 月～1 月分）紹介率は 81.1%、逆紹介率は 111.1%、平均在院日数は 12.4 日、1 日外来平均患者数は 1,636 人、一般病床利用率は 89.94%でした。

推移でございますが、紹介率は横ばいで、逆紹介率は上がっております。これは、実数で見ると、紹介数は横ばい、逆紹介数は増えており、紹介率、逆紹介率も同様になっているというのが現状でございます。

連携パスのデータについては、平成 18 年度開始以来累計で脳卒中発症者数 296 人、同リスク者 34 人、慢性腎疾患 396 人、前立腺癌静岡地区 89 人、同清水地区 47 人、同その他 10 人、S ネット胃癌 427 人、大腸癌 545 人、乳癌 239 人、肺癌 2 人、IHD 5 人となっており、合計 2,090 人となっております。

薬カードについては、現在 2,845 枚が発行されております。発行枚数の年度推移は、若干の多寡はありますが、同じような発行枚数で推移しております。診療科別の内訳ですが、外科 57%、循環器科 27%、乳腺外科 8%と外科で良く使われております。

医師派遣でございますが、平成 24 年度延べ人数で 623 人、派遣施設 13 施設となっております。川根本町いやしの里診療所に清水先生が行かれており 161 人、公立森町病院には各科から 10 人、富士宮市立病院 40 人、静岡厚生病院 39 人、三島社会保険病院 39 人、市立島田市民病院 36 人、つばさ静岡病院 210 人、志太・榛原地域救急医療センター52 人、焼津市立病院 43 人、社保桜ヶ丘病院 29 人、沼津市立病院 41 人、清水厚生病院 38 人、藤枝市立総合病院 45 人となっております。

（神原議長）

数値等分かりにくい面もあったかと思しますので、レビューをしながらご質問を受けたいと存じます。

まず、紹介率・逆紹介率についてですが、逆紹介率が 100%を超えている理由についての説明がありました。初診から救急患者が抜く、複数科による逆紹介があることが言えるということでございましたが、分析として、元の施設へ 70%ほどしかお返ししていないことが問題と考えております。そのあたりにつき、土井先生何かありますか。

（土井委員）

20%他の施設に逆紹介している点については、リハビリ施設とか、特に脳卒中等でのリハビリ施設の場合かと思われます。

(加治委員)

リハビリテーションとそれ以外との二施設へ逆紹介している患者さんもいるものと推測されると思います。

(永嶋副看護師長)

往診医を探して、往診できる所に紹介することも多いです。

(神原議長)

いずれにしろ、原因を分析しておくことが大事で、次回の病診連携総会等で発表させていただきます。

それから、パスについてですが、脳卒中の患者の伸びが悪いように思います。リスク者パスが伸びていない、これは、当院の神経内科のポリシーとしてリスク者を原則扱わないということが影響しているものと思われます。Sネット、CKDはいい数字で推移してきていると思います。袴田先生、何かご意見ございますか。

(袴田委員)

脳卒中のリスク者を扱うのは難しいと思います。CKDは素晴らしい数値だと思います。Sネットは対象病院の中で県立総合が半分を占めており非常に寄与していると思います。肝臓がんについての数値がないですが、IHDについては、電子化を検討しているところで、今後伸びていくものと思います。

(神原議長)

次に、葵カードの現状についてですが、発行枚数が横ばいで推移しています。いざという時のためのインセンティブとして外科や循環器科の発行枚数が多いということになっています。これについては、何かご意見ありますか。

ないということで、次に、他施設への応援についてですが、常勤で是非来てほしいという要望が多くあるのですが、なかなか応えられる体制が整っておりません。地域再生基金を使って県の地域医療センターが中心となって機能するようになればならないと思いますが、現状、その恩恵がでていない状況だと思います。当院から応援した施設は13施設延べ623日人ということになっております。

(加治委員)

つばさ静岡に対する応援人数が多いのですが、何科から応援に行っているのですか。

(神原議長)

すべての診療科から応援に行っています。すぐそばなので、先方も喜んでいただいている状況です。

(加治委員)

こども病院からも小児科の先生が応援に行っていると聞いたので、小児科だけとしたらやけに多いなと思いました。

(神原議長)

次に、返書の未作成率ですが、3%を切るように土井先生が毎月の医局会にて言っていたいていますが、なかなか末端の医師までは伝わらないのかなと思います。

これについては何かございますか。無いようですので、次に、慢性期医療を考える会に

ついてですが、今後、高齢者や独居老人の問題がますます出てくると思います。それに対する勉強をしていかなければならないということで当院においても力を入れて進めていく必要があります。これについて、篠原彰委員何かご意見はございますか。

(篠原彰委員)

県総は、県下では間違いなく先進的に病診連携を行っており、地域医療支援病院としての役割を果たしていると思います。国が特定機能病院との機能分担について検討会を開き、纏まりつつあるという状況です。また、日本医師会も同様の調査を実施し、結果を纏めている最中ですが、地域医療支援病院には問題が残されているという回答が多いと聞いています。地域の基幹病院が診療所の支援をする、それが地域患者にとって安心安全につながる、そのことを実践しているという県総は高く評価できるものです。

今後、在宅医療をどうするかが重要な課題です。県医師会としても在宅医療ネットを立ち上げております。先ほど神原議長のお話しにもありました高齢者医療をどうしていくか、そのために退院支援のシステムづくりに力を入れて欲しいと思います。早い時期に関わり、ケアマネと在宅医療を担う医師との連携を更に充実して欲しいと思います。この点では静岡済生会総合病院が進んでいるわけで、25年度の地域医療ネットワークセンターの人的補助を進めて行ってほしいと思います。

地域医療再生基金を使って県との連携を図っていきたいと思います。

(神原議長)

MSWを増員したいと思っているのですが、なかなか良い人材が見つからないのが課題となっています。地域医療という点について、竹下委員何かご意見はございますか。

(竹下委員)

周術期口腔ケアについてですが、東海地区の病院アンケートでは、半年ちょっとで1病院あたり500万点となっていると聞きます。県立総合病院でもスタート時に静岡がんセンターの大田医師を講師として講演会を行っており、500万点くらい取れるように歯科医師会として積極的に取り組んでいただきたいと思います。

(神原議長)

分かりました。積極的に取り組ませて頂きます。次に、病診連携についてですが、松永委員何かご意見はございますか。

(松永委員)

病診連携に参加したくない先生もいらっしゃる。そういった方々にどのように連携していただくかということですが、診療所の医師の不安等を取り除くためにも、病院の医師が外向いて講演会を開催する等の機会設定をお願いしたいです。

(神原委員)

このあたりは土井先生よろしくをお願いします。

(土井委員)

例えば、看護師のケアとか、幅広い教育システムを考えたいと思います。

(神原議長)

次に、機器の共同利用についてですが、全体件数の1%強ですが、絶対数としては多いと

思います。高額なため、是非積極的に利用して欲しいと思います。手続きの簡略化等診療所の先生方の利便性の向上を検討したいと思います。PETについては数字がありませんでしたが。

(土井委員)

外部からのPETの利用状況は件数にして40%を超える依頼があります。がん診療におけるPETが浸透してきているものと思います。静岡市立静岡、日赤、済生会が多く、診療所からも各診療科を通じて依頼があります。

(神原議長)

次に、ふじのくにねっとについてですが、延べ約4,000名の患者が利用しています。今後は中東遠地域にも広げていくことになっています。ただ、維持費が課題となっており、各施設のサーバー管理費については各施設が、センターの運営費については当院が負担しており、重荷となっています。今後は、患者負担も考えていかなければならなくなるかもしれません。

その他、全体として何かご意見はございますか。

(篠原光委員)

今後、川根本町のいやしの里以外にも連携施設は増えるのでしょうか。全国的には遠隔医療は大変に役立つものとされていますが。例えば、富山県南砺市では雪で往診に行けない際に有効だという事例を聞いています。

(神原議長)

遠隔医療については、前の共立みなと病院と病理の遠隔画像診断を以前に行っていました。遠隔医療について進めたいのですが、保険診療が出来ない点が問題となっています。医師が現場にいないれば保険診療の点数が取れないということで、国に改善していただく必要があります。

ほかにごいませんか。それでは事務局に返します。

(事務局)

事務局より、一点お願いします。委員会の設置要綱改定についてです。任期は2年となっており、皆さま方のこの3月をもって任期が終了します。この委員の構成について、現状のままで良いのかそれとも他に新たな医療機関等施設からの委員を入れた方が良いのか、ご意見を賜りたく存じます。後日連絡いただければと思います。

それでは、閉会します。ありがとうございました。